

2026 年度入学試験 理科 第 1 回

問 題	得点率 (%)	問 題	得点率 (%)	問 題	得点率 (%)	問 題	得点率 (%)				
1	(1) A	68.1	2	(1)	37.9	3	(1)	80.5	4	(1)	95.3
	(1) B	78.5		(2)	96.0		(2) ①	52.0		(2) 速い	32.9
	(2)	43.0		(3)	70.1		②部分	78.5		遅い	34.9
	(3)	25.5		(4)	35.6		②植物	30.9		(3)	57.0
	(4) あ	87.6		(5)	75.8		(3) ①	77.2		(4)	14.8
	い	77.2		(6)	3.7		②	34.0		(5)	61.1
	う	84.9		(7)	8.7		(4) ①	89.9		(6) ①	82.9
	(5) ①	22.1					② A	58.7		②	75.5
	②	48.3					② B	67.8			
							(5)	41.6			

合格者最高点 65
合格者最低点 24

1 物理分野からの出題です。電磁気と力学に関する問題です。

- (1) 電流が作る磁界の向きを聞く問題でした。もう少し高い得点率を期待していました。
- (2) 学習メモの内容を用いて答える問題でした。(1)B が解けていないと難しい問題で正答率はやや低くなりました。
- (3) (1)、(2)を前提としているので、正答率は低くなりました。
- (4) 単純な比例ではない問題でしたが、よく解けていました。
- (5) ① 初めて見るグラフを考える思考問題で、正答率は低くなりました。見慣れた答えに飛びつかず、巻き数 50 回のデータを元に選択できると良かったです。
- ② ①よりもデータを見るのは難しかったと思いますが、よく解けていました。

2 化学分野からの出題です。沈殿の量に関する問題です。

- (1) 惜しい値が多かったので、多くの人は単純に 18g にならないことには気づけていましたが、計算ミスが目立ちました。
- (2) 非常によく解けていました。
- (3) 数値計算が大変な分、やや正答率は落ちましたがよく解けていました。
- (4) 見慣れない実験を学習メモとデータから考える問題でかなり思考力が必要だったと思います。その難易度を考慮するとよく解けていました。
- (5) (3)同様、数値計算が大変でしたがよく解けていました。
- (6) 実験データが 1L 中から 100mL 取り出したときの結果になることを見落としている人が多かったです。
- (7) (6)と連動して正答率は低くなりました。

3 生物分野からの出題です。イネに関する問題です。

- (1) 基本的な問題です。よく解けていました。
- (2) ① データや問題文を読み取れたかを確認する問題でした。計算などもあったからか、正答率はあまり伸びませんでした。
 - ②-部分 基本的な問題です。よく解けていました。
 - ②-植物 すべて選ぶのはやや難しかったと思います。もう少し高い正答率を期待していました。
- (3) ①知識として知っている人は少なかったと思いますが、よく解けていました。
 - ②
- (4) ①基本的な問題です。非常によく解けていました。
 - ②思考力を要する問題でしたが、期待以上によく解けていました。
- (5) 蒸散と蒸発の選択で悩んだ人が多かったようです。期待していたより正答率は高かったです。

4 地学分野からの出題です。地層に関する問題です。

- (1) 基本的な問題です。非常によく解けていました。
- (2) 川の削れる場所、堆積する場所のイメージで答えてしまう人が多かったです。期待していたより正答率は低かったです。
- (3) 断層
- (4) (3)がヒントとなっていましたが、それに気づけた人は少なかったです。期待していたより正答率は低かったです。
- (5) 図表と問題文の読み取りでやや難しい問題でした。期待していたより正答率は高かったです。
- (6) 基本的な問題です。よく解けていました。